



News Release

平成 30 年 11 月 16 日
株式会社日本政策投資銀行

いわて飛躍応援投資事業有限責任組合による第 1 号案件 (株) 北上エレメックの優先株式引受及び融資実行について

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：渡辺一、以下「DBJ」という。）、株式会社岩手銀行（代表取締役頭取：田口幸雄、以下「岩手銀行」という。）が共同出資する「いわて飛躍応援投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」という。）は、第 1 号案件として、株式会社北上エレメック（本社：岩手県北上市、代表取締役：菅原康裕、以下「当社」という。）が発行する優先株式の引受と当社に対する融資の実行を行いました。

当ファンドは、平成 30 年 9 月に DBJ と岩手銀行にて、地域の持続的な経済発展に向けた成長資金を供給することを目的として設立されました。

当社は、産業集積が進む岩手県北上市において、トヨタグループやキャノングループ、その他向けにプラスチック製部品の成形加工を手掛ける地場ものづくり企業です。金型の設計から部品の量産までを一貫して受注することが可能な当社の生産技術力は、大手製造業からも非常に高く評価されるなど重要なサプライヤーとして位置付けられており、産業集積の加速とともに引き合いは増加基調となっております。

本件は、当ファンドによる資本性資金および融資金を活用することによって、当社の今後のさらなる成長に向けた財務基盤の強化が図られるほか、大手製造業との取引拡大と地域関連企業への波及により、当地区の製造業全体の生産性向上や新たな雇用創出が期待できる点で、当ファンドの主旨に合致するものです。なお、当社の優先株式引受のための当ファンドに対する DBJ の出資については、地域経済の活性化や企業の競争力強化に資する成長資金を集中的に供給するものとして、「特定投資業務」（注）を活用します。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、今後とも地域経済の活性化、競争力強化に向けた地域のお客様の取り組みを積極的にサポートしてまいります。

（注）「特定投資業務」とは、民間による成長資金の供給の促進を図るため、国からの一部出資（産投出資）を活用し、企業の競争力強化や地域活性化の観点から、成長資金の供給を時限的・集中的に実施することを企図して設けられたものです。

【お問い合わせ先】

東北支店 業務第一課ファンド業務グループ 電話番号 022-227-8183

News Release

【当ファンドの概要】

- (1) 名称 : いわて飛躍応援投資事業有限責任組合
- (2) 規模 : 30億円
- (3) 設立 : 平成30年9月14日
- (4) 出資者 : 無限責任組合員 (GP) : DBJ地域投資 (株)
有限責任組合員 (LP) : DBJ、岩手銀行
- (5) 期間 : 投資期間5年間、存続期間12年間

【当ファンドのスキーム図】

